

# 地域の魅力の再発見と共有に基づく街体験型サービス技術に関する研究

## 1 研究目的

サービス利用者の満足度向上と回遊性向上をもたらすユビキタスサービスの具体的な構築法の提案と、提供情報の個人化を実現するための要素技術開発を行う。

## 2 研究開発の概要

ロコミ等の CGM コンテンツを活用したユビキタス情報サービスにおいて、コンテンツ作成者の特性を「説得性」で定量化して利用者との関連性によりコミュニティ知識を集約する「コミュニティ知識獲得」、個人の行動ログからのコンテンツ作成、および、個人の嗜好モデル化とユーザの心的状況（感情や気分等）に基づく情報提供、の各技術の開発を行う。それらにより、情報サービスの満足度の向上を目指す。

これらの技術を適用した実証サービスを24年度中に開発し、25年度末までに技術検証を進める。

## 3 期待される研究成果及びその社会的意義

本研究開発の技術を生かしたユビキタスサービスの高度化により、街での楽しみが増進され、地域での回遊性の向上とサービス利用者の満足度の向上等をもたらし、地域経済活性化に寄与する。

